

真空脱ガス炉 SBF-H500TA



真空脱ガス炉SBF-H500TAは各種部品の真空加熱を目的とした装置です。最高加熱温度は500℃まで昇温可能です。炉体内部は5段式となっており、コンパクトな装置で大容量の脱ガスが可能です。排気系は、ターボ分子ポンプを採用しておりますのでクリーンな排気です。

操作は排気系の立ち上げ・昇温工程・排気系の立ち下げがスイッチ1つで行え、初心者の方にも簡単にオペレート出来ます。また液晶型記録計も搭載しておりますので、温度監視や圧力監視も記録することが出来ます。

真空脱ガス炉SBF-H500TA仕様

- 到達圧力 $\times 10^{-5}$ Pa台※常温・無負荷・脱ガス完了時
- 最高温度 500℃
- 昇温時間 450℃迄1時間以内
- 均熱範囲 450℃ \pm 10℃以内・・・真空中
- 炉内寸法 550mmW \times 550mmD \times 550mmH SUS304
- 有効棚寸法 500mmW \times 500mmD \times 85mmH
- 棚数 5段
- 加熱機構 マイクロシースヒーター
- 加熱制御 サイリスタ制御
PID方式プログラム温調計 \times 1台
PID方式デジタル温調計 \times 5台
- 真空排気系 油回転ポンプ:333/400L/min[50Hz/60Hz]
ターボ分子ポンプ:500L/sec
- 真空計 デジタル圧力計/ピラニ真空計/電離真空計
- 記録計 横河電機製DX-2000型
- 操作方法 手動/自動操作可能
- ユーティリティ電気:AC200V三相25KVA
冷却水:12L/min以上0.1MPa以上0.15MPa以下25℃以下循環
計装エア:0.5MPa以上
設置寸法:1300mmW \times 1000mmD \times 1800mmH